

令和2年度 使用教科用図書採択結果及びその理由について

令和元年9月1日

教科	採択教科書	採択の理由
国語	光村図書	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年冒頭は、前学年での学びを確かめ、当該学年での1年間の学びが見渡せる構成となっている。領域・教材・たいせつ・学習用語も一覧することができる。そのため、学習の全体像をつかみ、学習中も振り返りを行いやすい。 ・学習の手引きは、「何を、何のために、どう学ぶか」を学習者がつかみやすい構成である。学習の見通しとゴールが明確で、上段は、学習の流れに沿った課題、下段は課題に取り組むための視点や方法が示されている。 ・「きせつの言葉」「言葉のたから箱」等、四季折々の季語や豊かな表現及び思考や表現をするための助けとなる言葉や語彙を増やせる場がある。 ・新設された「情報の扱い方に関する事項」が系統立てて配列され、教材化されている。また、他教科や日常生活に関連させて学びを生かせる教材があり、学習者が意欲や必然性を持って取り組める工夫がされている。 ・「本はともだち」「本の世界を広げよう」では、学校図書館利用、読書案内等の学習活動が設定され、低学年からも広く読書に親しめるようになっている。
書写	光村図書	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れやポイントが一目で分かるようになっており、学習者が主体的に取り組むことができるように工夫されている。 ・国語科の教科書と連動させた教材や、他教科・日常生活においても書写の学びを生かせるように教材が配列されている。 ・1年巻末には、水書シートがある。筆使いを確かめ、硬筆へと生かせる教材が充実している。 ・自己評価や相互評価を生かせる「たしかめようシール」や、書くための体をつくる「しょしゃ体操」があり。これらにより、主体的で対話的な学びや、文字を書く基礎となる姿勢保持・用具の扱い方を楽しみながら定着させることができる。
社会	日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが住んでいる地域(学区)が事例として取り扱われており、学習を進める上で、身近さ(心理的・物理的)を感じることができると考えた。 ・各ページに掲載されている資料については、色使いや大きさなど、見やすく子供たちの興味をひく工夫がなされている。また、学習問題の提示や重要語句の説明、単元の出口における課題設定など、問題解決的な学習を進めていきやすいように紙面が構成されている。
地図	帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ・第3学年の子供たちが「地図」に親しむことができるように、情報量を精選したページが設定され、段階的に指導できるようになっている。 ・土地の使われ方が一目でわかるように、配色や陰影などが工夫されている。 ・自然災害や防災、歴史学習においても、より地図帳を活用しやすい内容になっている。近年に起きた災害の情報や、世界文化遺産の写真など、子供たちの興味関心を喚起する紙面となっている。

<p>算数</p>	<p>大日本図書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元構成は、子どもの発達段階に考慮しつつ構成してある。基礎基本的な内容については問題数も少なすぎず、多すぎず扱いやすい。変化の多い本校のカリキュラムにも対応しやすい構成と量となっている。授業中の考え方の練り上げに役立つように、1つの課題に対して複数の考えを掲載している。 ・活用問題として、「算数たまたばこ」では、思考力・表現力を養う問題や、子供達の身近な生活、算数の歴史等、算数や数学への興味・関心を高める問題が扱われている。本校の子供達にとっても適したレベルであると考ええる。 ・滋賀県に関連した問題や、写真、や情報を扱っている単元が多い。例えば、6年生での「びわ湖のおよその面積」や、「うみのこ」を扱った問題、「六角柱の信長の館」など…。 ・カラーユニバーサルデザインへの配慮と、ユニバーサルデザインフォントが採用されており、本校の子供達にとっても、見やすく、読みやすいものと考ええる。
<p>理科</p>	<p>東京書籍</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの教育において教科においても目標となるのは「資質・能力の育成」である。各学年における「資質・能力」のうち、理科において大切にされる「問題解決の力」を的確に捉え、一目見て分かるように分かりやすく構成されている。また、「理科の見方・考え方」を働かせる場面が工夫して掲載されており、「各領域で主に働かせる見方・考え方」と「各学年で主に育てる問題解決の力」の関連が適切に分かりやすく表記されている。 ・「子供が自分の力で考え、表現し、学びを深めていくこと」を実現するためには、教科書に全ての情報が掲載されていることが良いとは限らない。思考場面を見いだして情報をあえて抜き出し、考える状況を生みだしているところは、「考える場面の重点化」「考える力の育成」に適した教材だといえる。さらに、考察場面においては吹き出しを活用して考察の道筋が表記され「考え方を働かせる」ということがどういうことなのか明示されており、子供が「考え方」を意識しながら学習を深めることができる。 ・単元の導入場面において、漫画を使って子供たちの生活場面などに沿ってストーリーを生みだす仕掛けがされているため、子供が日常生活と関連付けて学習をすることができ、理科の有用性を実感できるようになっている。また、学習のつながりを意識することができ、単元の内容をつなげて領域の概念を形成しやすいといえる。
<p>生活</p>	<p>大日本図書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子供のつぶやきや学習カードが豊富に例示され、実際の活動をイメージする助けになる。また、教師の投げ掛けや板書例が示され、指導者にとっても活動の流れがつかみやすいよう工夫されている。 ・生活科では多様な単元構成が考えられるが、活動の構成や中心としたい内容等、本校のカリキュラムや研究と親和性が高いと考えられる。 ・「しょうがっこう せいかつ はじまるよ」として、小学校生活の始まりを意識した内容が記載されており、スタートカリキュラムとの関連等、幼児期から児童期への円滑な接続を図る指導の助けになる。

		<ul style="list-style-type: none"> ・「がくしゅうどうぐばこ」として、伝え方や身の回りの生き物等、学習の補助として参照できる内容が掲載されている。
音楽	教育芸術社	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年では拍に合わせて体を動かす活動，中学年では階名唱や旋律の特徴を感じ取る活動，高学年では音の重なりや和声の響きを味わう活動といった，発達段階に合わせた活動が多数設定されている。 ・音の上がり下がりや音符の長さを図に表すことで，視覚的に曲の流れを感じられるよう工夫されている。 ・思いや意図を表現につなげるための話し合い活動が設定されている。 ・音楽を形づくっている要素を中心に，各教材での学びが結び付けられるような題材構成が，系統立ててされている。
図画工作	日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色、組み合わせ、色の明るさ、動き、奥行き、バランスなどを捉える箇所について、図や説明文、比較などを多く用いて、児童が意識しやすいように工夫がなされている。 ・活動の場面において、児童のつぶやきを、吹き出しを用いて示すことで、児童自らが創造的に発想や構想をしていくことを意識した紙面づくりがなされている。また、一人ひとりが自分の考えを深め、他人の意見を受け入れ、新たな価値を見つけることができるように設定されている。
家庭	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・生活のさまざまな場面を想像しやすい写真が題材ごとに掲載されていて、課題を設定しやすいようになっている。 ・「なせ～」で始まる言葉を多く使うことで、題材に対して疑問をもちやすいように作られている。 ・デジタル教科書が使用されているだけでなく、QRコードが掲載されていて、タブレット端末や携帯でも動画を見ることができる。家庭学習でも使えるようになっている。 ・外国語やキャリア教育、日本の伝統、プログラミング教育など様々な教科や内容と関連させた資料が掲載されていて、子どもの関心を高めることができると考える。
保健	Gakken (学研)	<p>教科書に示されている資料が子どもにとって適切なものであるかを中心に選定した。また、写真資料・イラストの見やすさを使われている言葉など、子どもにとって引きつけられるものとなっている。実際に自分の実生活を振り返ることのできる資料や自分の体について比較することができる資料等、日常生活と学習を結びつけることができるよう工夫されている。また、教科書への記入欄が比較的少なく、各教官が教科書を活用しながら各自で工夫した授業づくりを行うことができる。</p>
外国語	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入では、外国語活動で慣れ親しんだ表現を振り返りながら英語の音に触れることができ、児童の身近な話題やストーリーが題材とされ、学習への関心・意欲を高める工夫がされている。 ・他教科で学んだテーマや、世界の文化や人権・多様性についてなどの内容が多く取り入れられているため、深く思考し仲間と学び合う良さを生かすことができる。

		<ul style="list-style-type: none"> ・5・6年生用共通別冊 Picture Dictionary があり、3～6年生で扱う単語や表現がまとめられており、教科書本体と一緒に使用したり、家庭で保護者と一緒に学習したりすることもできる。 ・テーマ別に複数の単元で学んだ英語を使って伝えたい内容にあわせて文例やジャンル別の語から選んで組み合わせでスピーチを作り、発表できるユニットがあり、コミュニケーション能力の技能統合がはかれるように設定されている。
<p style="text-align: center;">道徳</p>	<p style="text-align: center;">日本文教出版</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラストが大きく掲載されており、児童が興味・関心を高めながら教材に向き合うことができるようになっている。 ・主な登場人物やあらすじが示されており、教材への見通しをもって理解を進めることができる。 ・いじめや情報モラルなど、社会的課題と対応した教材について、各学年複数配置されているため、じっくり考えることができる。 ・学びの足跡を残すための道徳ノートがあり、自分自身の成長の記録となり手元に残る。 ・道徳ノートに、友だちの考えや授業の振り返り等臨機応変に書き込むスペースが確保されており、様々な見方、考え方に気付くことができる。 ・ノートに保護者記入欄が設けてあり、道徳教育を通して、家庭と学校の連携を図ることができる。